

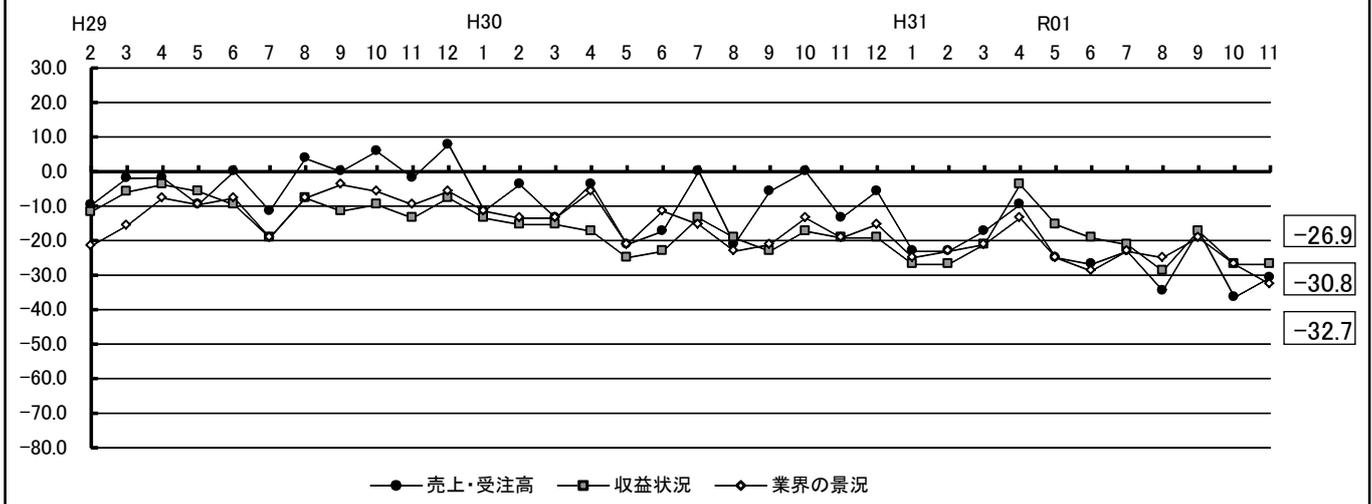
# 中小企業団体情報連絡員報告結果(令和元年11月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員52名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 11月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中4指標が上昇、3指標が下降した。主要3指標では、「売上高」は上昇し、「収益状況」は不変、「業界の景況」は下降した。
- 前月に引き続き台風19号の影響が色濃く出ており、店頭での消費の落ち込みや工事中止に伴う売上高減少等が発生している。直接的な被害があった地域では未だ完全復旧できていない事業者も存在し、改めてBCP(事業継続計画)等の必要性を痛感することとなった。
- 小売業を中心に消費増税の大きな影響を受けている。消費者の買い控えや全体的な動きの悪化等により厳しい業況が続いており、景気の停滞感がより一層強まっている。
- 売上高は回復傾向にもかかわらず、業界の景況は悪化した。これは、今後の見通し不安が顕著に反映されているものと考えられ、中小企業を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いている。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-30.8	+5.7	-31.6	+1.2
収益状況	-26.9	0.0	-32.1	+0.5
業界の景況	-32.7	-5.8	-35.9	-1.8

## 売上・受注高

当月の県内売上・受注高DI値は、前月より5.7ポイント上昇し、-30.8ポイントとなった。全国においては、前月より1.2ポイント上昇し、-31.6ポイントとなった。

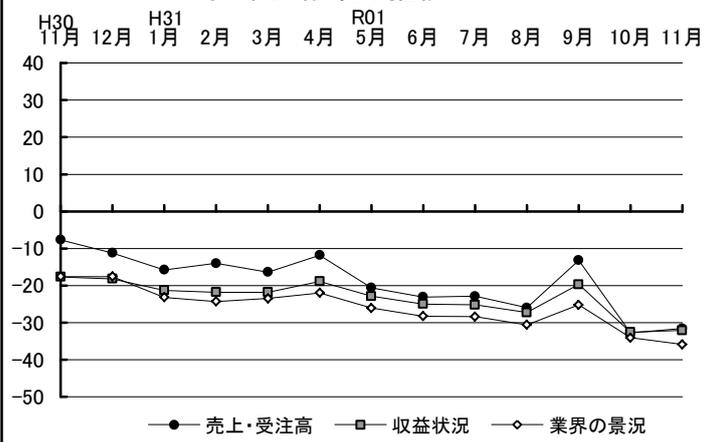
## 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より変わらず、-26.9ポイントとなった。全国においては、前月より0.5ポイント上昇し、-32.1ポイントとなった。

## 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より5.8ポイント下降し、-32.7ポイントとなった。全国においては、前月より1.8ポイント下降し、-35.9ポイントとなった。

全国集計結果の推移



## -概 況-

11月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べ、9指標中「売上高」「在庫数量」「資金繰り」「設備操業度」の4指標が上昇、「取引条件」「雇用人員」「業界の景況」の3指標が下降した。

主要3指標では、「売上高」は上昇し-30.8ポイント、「収益状況」は不変で-26.9ポイント、「業界の景況」は下降し-32.7ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中3業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中2業種が上昇、1業種が下降した。「収益状況」は製造業で7業種中3業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が上昇した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が下降し、非製造業で6業種中1業種が下降した。

台風19号の影響により、店頭での消費の落ち込みや工事中止に伴う売上高減少等が発生している。未だ完全復旧できていない事業者も存在し、改めてBCP（事業継続計画）等の必要性を痛感することとなった。また、消費増税に関し、小売業を中心に大きな影響を受けており、消費者の買い控えや全体的な動きの悪化等により厳しい業況となっている。全体的に先行き不安を訴える声が多く、中小企業を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	○	△	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	×	△	△	×	×	×	△	△	×
木材・木製品	△	△	△	△	△	△	○	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	×	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	×	△	△	△	△	△	△	△	×
一般機器	×	△	△	△	×	△	△	△	×
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	×	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	×	×
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	50.0	25.0	-25.0	-75.0	-25.0	0.0	0.0	-75.0
繊維・同製品	-75.0	-25.0	-25.0	-50.0	-75.0	-50.0	-25.0	-25.0	-50.0
木材・木製品	25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	-50.0
一般機器	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
製造業	-36.0	-8.0	4.0	-12.0	-36.0	-16.0	-8.0	-4.0	-36.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-71.4	-42.9	0.0	-28.6	-57.1	-28.6		0.0	-57.1
サービス業	0.0		16.7	0.0	0.0	-16.7		-50.0	-50.0
建設業	-20.0		0.0	-20.0	-20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-25.9	-30.0	3.7	-11.1	-18.5	-11.1	-11.1	-29.6	
全体	-30.8	-14.3	3.8	-11.5	-26.9	-13.5	-8.0	-7.7	-32.7

図表3～【指標別DI値の推移】

	30年 11月	12月	31年 1月	2月	3月	4月	元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	前月 比
売上高	-13.5	-5.8	-23.1	-23.1	-17.3	-9.6	-25.0	-26.9	-23.1	-34.6	-17.3	-36.5	-30.8	5.7
在庫数量	-5.7	-17.1	-8.6	-17.1	-17.1	-17.1	-28.6	-20.0	-20.0	-14.3	-8.6	-20.0	-14.3	5.7
販売価格	9.6	7.7	0.0	1.9	-1.9	1.9	3.8	0.0	5.8	0.0	3.8	3.8	3.8	0.0
取引条件	-11.5	-9.6	-15.4	-11.5	-13.5	-7.7	-3.8	-1.9	-5.8	-9.6	-9.6	-9.6	-11.5	-1.9
収益状況	-19.2	-19.2	-26.9	-26.9	-21.2	-3.8	-15.4	-19.2	-21.2	-28.8	-17.3	-26.9	-26.9	0.0
資金繰り	-9.6	-15.4	-15.4	-9.6	-11.5	-3.8	-5.8	-7.7	-11.5	-15.4	-11.5	-19.2	-13.5	5.7
設備操業度	4.0	4.0	-16.0	-8.0	-8.0	0.0	-4.0	-4.0	-4.0	-20.0	-20.0	-16.0	-8.0	8.0
雇用人員	-1.9	-5.8	0.0	0.0	-3.8	3.8	0.0	-3.8	-5.8	-3.8	-1.9	-3.8	-7.7	-3.9
業界の景況	-19.2	-15.4	-25.0	-23.1	-21.2	-13.5	-25.0	-28.8	-23.1	-25.0	-19.2	-26.9	-32.7	-5.8

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	75.0	-25.0	0.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0
繊維・同製品	-25.0	0.0	-25.0	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0
木材・木製品	25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	25.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
製造業	0.0	12.0	-8.0	-4.0	-12.0	4.0	8.0	-4.0	-8.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	14.3	-14.3	28.6	-14.3	0.0	0.0		0.0	0.0
サービス業	50.0		0.0	33.3	50.0	33.3		-16.7	0.0
建設業	-20.0		0.0	-20.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	11.1		-10.0	7.4	0.0	11.1		7.4	-3.7
全体	5.7	5.7	0.0	-1.9	0.0	5.7	8.0	-3.9	-5.8

## 特記事項

情報連絡員報告（令和元年11月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	台風19号により被災した組合員のみならず、災害後は全体的に売上等に影響が出ている。消費増税については、軽減税率の効果もあり売上等の下落は予想したほどではないものの、これまでと同様に厳しい状況に変わりはない。
酒類製造業	台風19号で被災した酒蔵は、ボランティア等の尽力もあり、12月中旬頃より仕込みを開始できそうである。取引先やお客様等にご心配をかけたが、ようやく復旧のめどが立ち、一安心である。
縫製業	月を追うごとに生産量が減少している。平日であっても休日に振り替えて就業を一部休止させなければならぬほど業況は悪化している。
染色整理業	複数の組合員において売上高の減少がみられる。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	来春向けの第一弾の納品が始まり、シーズンの滑り出しとしては各社まずまずといったところである。11月末に組合として都内展示会に出展し、様々な業者と情報交換をしたが、年々取引先の倒産や廃業が増加し、やりくりが大変であるとのことであった。
建具製造業	台風の水害に関連する仕事が増加し、売上高が増加した。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	鉄鋼向けは減産傾向のため出荷減となった。肥料関係は先取りがあり、まずまずの出荷となった。建材関係は台風等の天候の影響でいくつかの工事物件が中止となったため減少した。全体的には、肥料関係は昨年並みに出荷できたものの、鉄鋼・建材関係の減少が大きかったため、減少傾向となった。
金属製品製造業	自動車部品の一部生産調整の影響により売上高が減少した。
金属製品製造業	売上低下・人件費増加・人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも低下した。
一般機械器具製造業	売上高がやや減少し、それに伴い収益状況もやや減少した。企業間格差があるため一概には言えないが、10月から実施された消費増税の影響懸念があり、今後の見通しにやや不安がある。なお、人手不足は継続中である。
一般機械器具製造業	台風の被害により景気動向は著しく低下傾向にある。一部に活況な事業所がみられるが、設備復旧工事等が絡んだ仕事がある場合に限られる。全体的に景気の停滞感が強くなっているように感じる。
各種商品卸売業	前月までは全体的に大きな業況変化はみられなかったが、今月は売上減少や採算悪化する組合員が複数みられ、今後の見通し不安が高まった。
食肉小売業	台風の影響により紅葉の色付きが悪く、例年より観光客が少ない状況が続いている。また、消費者の買い控えの影響もあり、売上高が減少している。
中古自動車小売業	消費増税の悪影響が続いている。8%に増税されたときより新車の販売減が大きい。新車の販売数減少に伴い下取車の減少及び中古車の発生減が生じており、全体的に低調な業況となっている。
各種商品小売業	消費増税前は駆け込み需要の高まりとともに約12～15%の売上増となったが、増税後の11月は約17%の売上減となり、厳しい月であった。今後は年末商戦による売上増を期待しているが、景況は悪く、厳しい状況が続くと予想される。

各種商品小売業	消費増税の影響がどれほど続くか恐れていたが、各店舗が積極的にセールを仕掛けたおかげで、ひとまず前年と同水準に落ち着いた。12月には全館をあげて誕生祭セールが実施されるが、さらに積極的な売り出しを意識して、良い形で今年を締めくりたい。
各種食料品小売業	厳しい経済状況が続いている。
花・植木小売業	9、10月の大雨と台風の影響により出荷が激減している産地があり、市場への入荷量は全体的に少なく、相場は前年比10%程度の単価高で推移した。産地によっては年内は入荷量も品質も上がってこない品目があるようなので、産地情報を早めに収集して12月の繁忙期に備えたい。
理容業	台風19号により床上浸水等の大きな被害を受けた組合員が20者あったほか、理容器具の故障等で営業を一時的に休業した組合員もいた。予期せぬ自然災害であったため、一時は廃業を考えた組合員もいたと聞いているが、何とか踏みとどまり営業再開にこぎつけることができたとのことである。一方、被害の大きかった事業所では未だ完全に復旧できていないところもあるため、組合でも今後の対応を考えていきたい。
自動車整備業	台風被害の影響により、月初めから中旬にかけて整備車両の入庫台数が減少し、それに伴い売上高も減少した。
旅館・ホテル	宿泊に関しては、10月と11月がトップシーズンのため、イベント等も多く、高稼働で推移した。宴会に関しては例年通りであったが、8月から11月にかけての宴会利用での受注件数がここ数年大幅に減少している傾向にあると思う。飲食店利用に関しては未だ動きが鈍く感じる。消費増税の影響を一番受けやすい業種であるため、今後の対策が必要である。また、台風19号以降更に鈍くなった感があり、厳しい状況が続いている。
ビルメンテナンス業	公園除草業務の受注増及び福祉用具レンタル件数の増加により、売上高が増加している。人手不足の中で最少人員により業務に対応していることもあり、収益が増加している。
給食センター	産業弁当の値上げを実施したが、不採算部門の撤退等により昨年度より若干の売上高減少となった。配送の燃料費の高騰や最低賃金引上げなどで厳しい状況ではあるが、食材費の減少や新規の得意先の開拓・新商品の開発により、収益も良くなると思われる。
内装工事業	当組合の防災ラベル支給枚数からみると、カーテン用ラベルは3%減、敷物用ラベルは10%減、壁装用ラベルは19%増であった。4～10月累計では26%の減少となった。また、産業廃棄物の処理価格が大幅に値上がりしており、厳しい状況が続いている。
一般貨物自動車運送業	全体的に人材不足であるが、特に若年層の人材が不足しており、人材の確保と育成が今後の課題である。燃料価格が上昇しているため、経費が増加し収支を圧迫している。働き方改革等により休日が増加したため、その分売上も低調である。
貨物軽自動車運送業	月を通して物流が好調で、食品・鉄鋼・精密機械等様々な分野から依頼がある状態で終始できた。
一般乗用旅客自動車運送業	2%弱の売上高減少となった。年末の繁忙期に期待したい。
大谷石採石業	主に加工を行っている事業者は売上が増加傾向にあるが、主に採石を行っている事業者は売上が減少傾向にある。これは、大きな土木工事等の受注が少ないことが理由と考えられる。